
2021年度第2四半期（4～9月）決算について

2021年10月28日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□第2四半期 連結経営成績・財政状態	．．．	2
□第2四半期 連結決算の概要	．．．	3
□2021年度 連結業績予想	．．．	4
□2021年度 中間配当・期末配当予想	．．．	6
□参考資料	．．．	7

■ 第2四半期 連結経営成績・財政状態

経営成績（累計）

（単位：億円）

	当第2四半期 (A)	前第2四半期 (B)※	増減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%
売上高	2,734	2,572	161	6.3
営業利益	271	335	△ 63	△ 19.1
経常利益	227	279	△ 52	△ 18.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	174	241	△ 66	△ 27.6
1株当たり四半期純利益	81 ^円 71 ^銭	114 ^円 07 ^銭	△ 32 ^円 36 ^銭	

※ 2021年度第1四半期から、収益認識会計基準等の適用に伴い、電気事業会計規則が改正され、再生可能エネルギー固定価格買取制度に関する影響額については、収益・費用計上の対象外となりました。

本資料に記載の2020年度第2四半期実績については、上記変更を遡及適用し組み替えて表示しております。

財政状態

（単位：億円）

	当第2四半期末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
総資産	20,027	20,016	11
純資産	3,021	2,897	124
自己資本比率	14.5%	13.8%	0.7%

売上高 (増収)	積極的な卸販売の実施に伴う他社販売電力量の増加などにより、前年同期に比べ161億円増加の2,734億円となりました。
経常利益 (減益)	他社販売電力量の増加や発電設備に係る修繕費の減少などはありませんでしたが、本年4月以降の燃料価格の上昇に伴う収支の悪化などにより、前年同期に比べ52億円減少の227億円となりました。
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	前年同期に比べ66億円減少の174億円となりました。

■ 2021年度 連結業績予想

2021年度通期の連結業績につきましては、至近の燃料価格上昇の影響などを反映し、2021年7月30日に公表した連結業績予想を修正いたしました。

(単位：億円、億kWh)

	2021年度見通し			今回見通し 対前年度増減(※)
	今回公表 (A)	7月公表 (B)	増減 (A)-(B)	
売上高	6,330程度	6,000程度	330程度	480程度
営業利益	200程度	330程度	△130程度	△340程度
経常利益	110程度	230程度	△120程度	△300程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	90程度	200程度	△110程度	△270程度
(対前年度増減率) 小売販売電力量	(△1.1%程度) 224程度	(△1.1%程度) 224程度	同程度	△3程度

2021年度第1四半期から、収益認識会計基準等の適用に伴い、電気事業会計規則が改正され、再生可能エネルギー固定価格買取制度に関する影響額について、収益・費用計上の対象外となります。

※なお、対前年度増減は、2020年度実績について上記変更を適用したものと仮定して算定しております。

【新型コロナウイルス感染症の影響】 2021年度の新型コロナウイルス感染症の影響により、北海道内の景気は引き続き厳しい状況にあるため、小売販売電力量において、△4億kWh程度と見込んでいます。

【主要諸元】

為替レート(円/\$)	110程度	110程度	同程度	4程度
原油CIF価格(\$/bl)	75.0程度	70.0程度	5.0程度	32.0程度

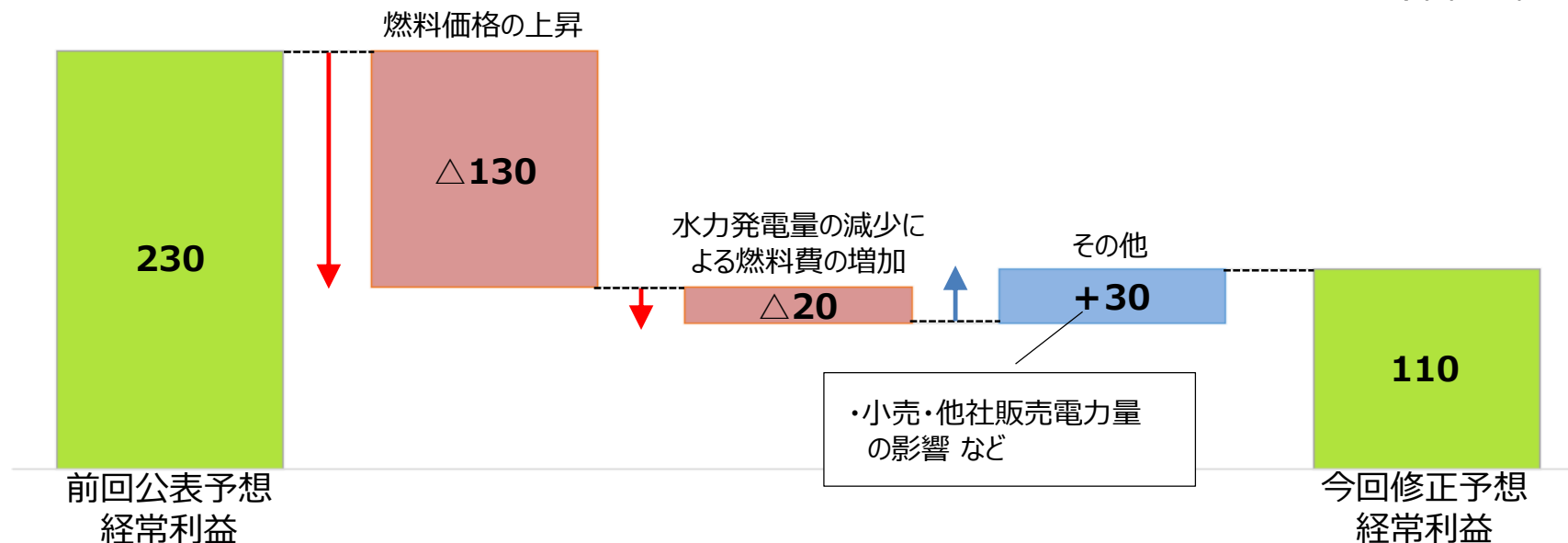
※10月以降、為替レートは110円/\$程度、原油CIF価格は80\$/bl程度と想定しております。

■ 2021年度 連結業績予想の修正概要

小売販売電力量	当第2四半期では概ね計画どおりに推移していることから、7月公表値と同程度となる見通しです。
売上高	積極的な卸販売の実施などによる他社販売電力量の増加や燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加などにより、7月公表値に比べ330億円増加の6,330億円程度となる見通しです。
経常利益	燃料価格の上昇に伴う収支の悪化などにより、7月公表値に比べ120億円減少の110億円程度となる見通しです。

<連結業績予想の修正内容について>

(単位：億円程度)



■ 2021年度 中間配当・期末配当予想

- ・2021年度中間配当につきましては、本日開催の取締役会において、前回公表した配当予想のとおり、普通株式は1株当たり10円、B種優先株式は定款の定めに従い1株当たり1,500,000円と決定いたしました。
- ・2021年度の期末配当予想につきましては、7月公表から変更はありません。

【1株当たり配当金】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2020年度 (実績)	5円	15円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2021年度	10円	(10円)	(20円)	1,500,000円	(1,500,000円)	(3,000,000円)

※2021年度の（ ）内は予想値。

■ 参考資料

- ・連結収支比較表（全体）
- ・連結対象会社
- ・販売電力量（連結）
- ・供給電力量（連結）
- ・連結収支比較表（収益）
- ・連結収支比較表（費用・経常利益）
- ・連結セグメント情報
- ・連結キャッシュ・フロー計算書
- ・連結経常利益の変動要因（対前年同期比較）

業績予想

- ・連結経常利益の変動要因（対前年度比較）

連結決算－収支比較表

(単位：億円)

		当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
経常 収益	営業収益（売上高）	2,734	2,572	161	6.3
	電気事業営業収益	2,551	2,403	148	6.2
	その他事業営業収益	183	169	13	8.1
	営業外収益	30	7	22	283.6
合計		2,764	2,580	184	7.1
経常 費用	営業費用	2,463	2,237	225	10.1
	電気事業営業費用	2,300	2,084	215	10.4
	その他事業営業費用	163	153	10	6.5
	営業外費用	74	63	10	16.8
合計		2,537	2,301	236	10.3
[営業利益]		[271]	[335]	[△ 63]	[△ 19.1]
経常利益		227	279	△ 52	△ 18.7
渴水準備金引当又は取崩し		△ 2	△ 5	2	－
税金等調整前四半期純利益		229	285	△ 55	△ 19.3
法人税等		53	43	9	22.1
四半期純利益		176	241	△ 64	△ 26.8
非支配株主に帰属する四半期純損益		1	△ 0	1	－
親会社株主に帰属する四半期純利益		174	241	△ 66	△ 27.6
(参考)	四半期包括利益	168	258	△ 90	△ 34.9

連結子会社		持分法適用会社
北海道電力ネットワーク(株)	北海道電気工事(株)	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくでんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくでんエコエナジー(株)	石狩LNG棧橋(株)
ほくでんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	
ほくでん情報テクノロジー(株)	北海道電力コクリエーション(株)	

連結決算－販売電力量

・小売販売電力量は、引き続き積極的な営業活動を展開しておりますが、他事業者への契約切り替えの影響などから、合計で9,923百万kWh、対前年伸び率△1.9%となりました。

(新型コロナウイルス感染症による影響：△3億kWh程度→△2億kWh程度)

・他社販売電力量は、積極的な卸販売の実施に伴う販売量の増加などから、合計で3,385百万kWh、対前年伸び率103.4%となりました。

(単位：百万kWh)

		当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%	
小 売	低 圧	電 灯	3,761	3,927	△ 166	△ 4.2
		電 力	645	652	△ 7	△ 1.2
		計	4,406	4,579	△ 173	△ 3.8
	高圧・特別高圧		5,478	5,507	△ 29	△ 0.5
	小計(※1)		9,884	10,086	△ 202	△ 2.0
	その他(※2)		39	33	6	18.1
	合計		9,923	10,119	△ 196	△ 1.9
他社販売電力量		3,385	1,666	1,719	103.4	
小売・他社販売電力量合計		13,308	11,785	1,523	12.9	

※1 小計欄は、北海道電力(株)の販売電力量を示す。

※2 その他欄は、北海道電力ネットワーク(株)および北海道電力コクリエーション(株)の販売電力量を示す。

- ・ 泊発電所は全基停止していることに加え、出水率が88.7%と平年を下回りましたが、供給設備の適切な運用により、安定した供給を維持することができました。

(単位：百万kWh)

		当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
発電電力量	(出水率%) 水 力	(88.7%) 1,972	(86.4%) 2,012	(2.3%) △ 40	△ 2.0
	火 力	7,402	7,454	△ 52	△ 0.7
	(設備利用率%) 原 子 力	(-) -	(-) -	(-) -	-
	新エネルギー等	42	57	△ 15	△ 27.6
	計	9,416	9,523	△ 107	△ 1.1
他社受電電力量※		5,062	3,446	1,616	47.0
揚水用		△ 134	△ 121	△ 13	11.0
合 計		14,344	12,848	1,496	11.7

※他社受電電力量には、連結子会社の北海道パワーエンジニアリング(株)およびほくてんエコエナジー(株)からの受電電力量が含まれている。

連結収支比較表（収益）

（単位：億円）

	当第2 四半期連結 累計期間 (A)	前第2 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
売 上 高	2,734	2,572	161	6.3	
電気事業営業収益	2,551	2,403	148	6.2	
2 社 合 計 ※					
電 灯 ・ 電 力 料	1,992	2,070	△ 78	△ 3.8	・小売販売電力量等の減少
そ の 他	564	338	225	66.5	
地 帯 間 ・ 他 社 販 売 電 力 料 (再 掲)	325	142	183	128.3	・地帯間・他社販売電力料の増加 ・託送収益の増加
託送収益(再掲)	206	171	35	20.6	
子会社・連結修正	△ 5	△ 6	1	—	
その他事業営業収益	183	169	13	8.1	
営 業 外 収 益	30	7	22	283.6	・貸倒引当金戻入額の増加
経 常 収 益	2,764	2,580	184	7.1	

※ 2 社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結収支比較表（費用・経常利益）

（単位：億円）

		当第2 四半期連結 累計期間 (A)	前第2 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
電気事業営業費用		2,300	2,084	215	10.4	
2 社 合 計 ※	人 件 費	274	280	△ 5	△ 2.0	・退職給付費用の減少
	燃 料 費	437	351	85	24.2	【増加要因】 ・燃料価格の上昇
	購 入 電 力 料	421	255	166	65.2	・他社販売電力量の増加
	修 繕 費	241	264	△ 23	△ 8.8	・発電設備に係る修繕費の減少
	減 価 償 却 費	349	355	△ 5	△ 1.7	
	そ の 他 費 用	598	583	14	2.5	・情報処理費用の増加
子会社・連結修正		△ 22	△ 6	△ 15	—	
その他事業営業費用		163	153	10	6.5	
営業外費用		74	63	10	16.8	
	支払利息(再掲)	47	54	△ 6	△ 11.7	・金利の低下
経常費用		2,537	2,301	236	10.3	
経常利益		227	279	△ 52	△ 18.7	

※ 2社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結決算－セグメント情報

- ・北海道電力セグメントの売上高は、前年同期に比べ65億円増加の2,518億円となり、セグメント損益は、他社販売電力量の増加や発電設備に係る修繕費の減少などはありませんでしたが、本年4月以降の燃料価格の上昇に伴う収支の悪化などにより、前年同期に比べ92億円減少の217億円の経常利益となりました。
- ・北海道電力ネットワークセグメントの売上高は、前年同期に比べ108億円増加の1,106億円となり、セグメント損益は、新型コロナウイルス感染症の影響の縮小に伴う電力需要の増加などにより、前年同期に比べ損失幅が21億円縮小したものの、12億円の経常損失となりました。

(単位：億円)

	当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	2,734	2,572	161
北海道電力	2,518	2,453	65
北海道電力ネットワーク	1,106	997	108
その他※1	582	577	4
調整額※2	△1,472	△1,456	△16
セグメント損益（経常損益）	227	279	△52
北海道電力	217	310	△92
北海道電力ネットワーク	△12	△34	21
その他※1	36	9	26
調整額※2	△14	△6	△8

※1「その他」は、「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」セグメント以外の、その他の連結子会社等の実績である。

※2「調整額」は、連結決算におけるセグメント間取引の消去額である。

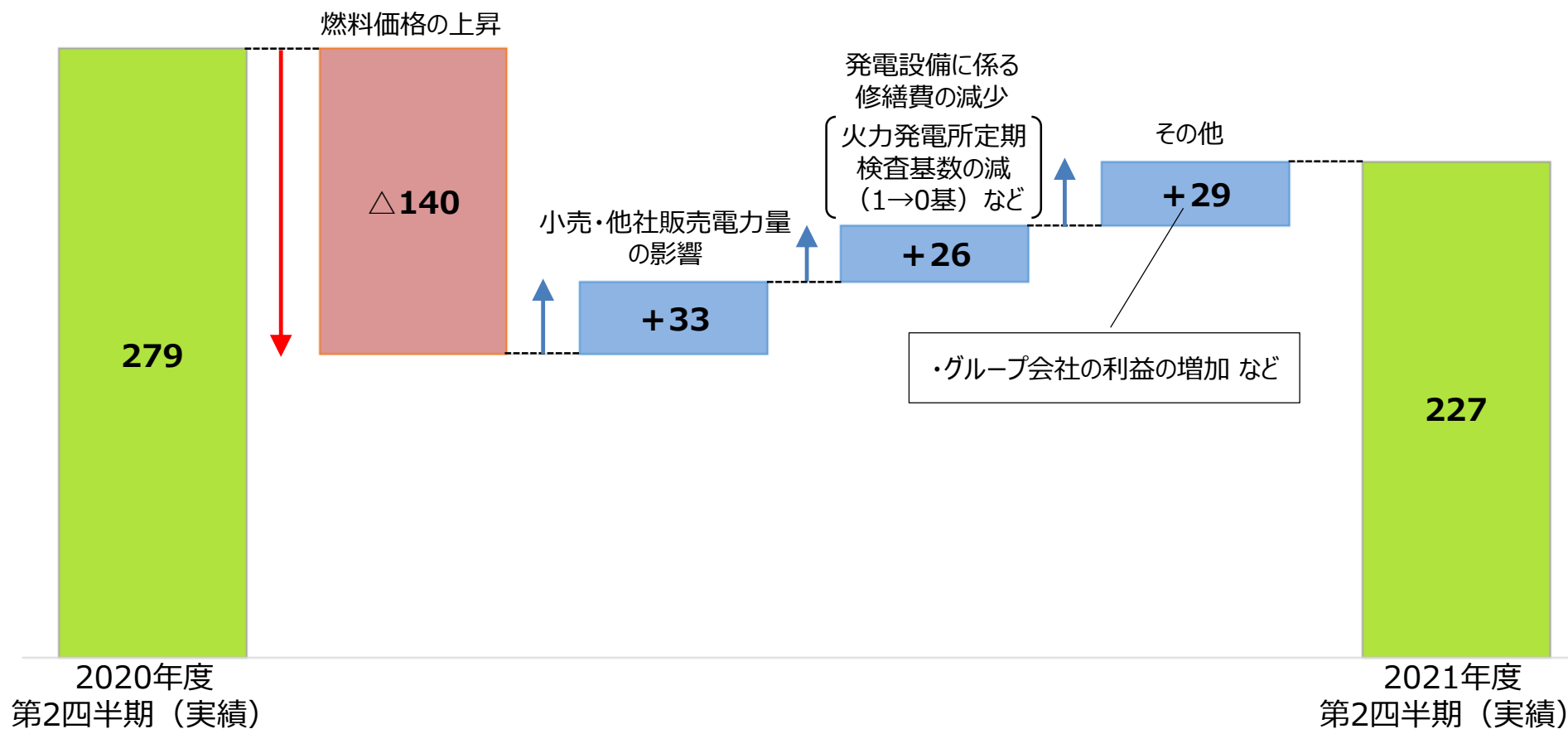
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の減少や燃料価格の上昇による棚卸資産の増加などにより、前年同期に比べ355億円減少の140億円の収入となりました。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出の減少などにより、前年同期に比べ39億円減少の317億円の支出となりました。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が増加したことなどにより、前年同期に比べ14億円減少の60億円の収入となりました。
- ・以上の結果、現金及び現金同等物は、期首に比べ116億円減少の721億円となりました。

(単位：億円)

	当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	140	496	△355
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△317	△357	39
差引 C F〔I+II〕	△176	138	△315
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	60	75	△14
IV. 現金及び現金同等物の増減額〔I+II+III〕	△116	214	△330
V. 現金及び現金同等物の期末残高	721	789	△68

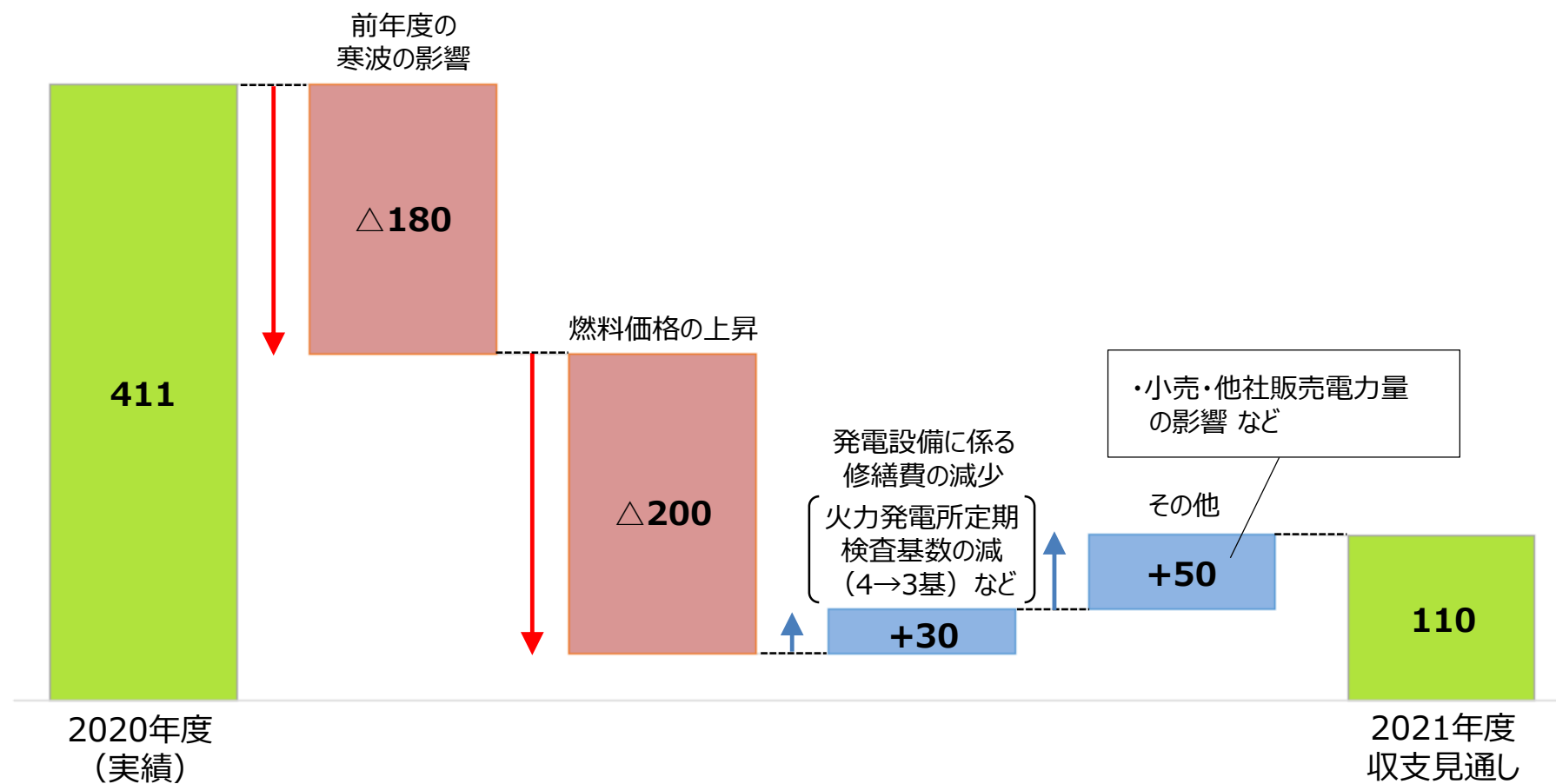
第2四半期（連結決算）－経常利益の変動要因（対前年同期比較）

（単位：億円）



連結業績予想－経常利益の変動要因（対前年度比較）

（単位：億円、億円程度）



(お問い合わせ)
北海道電力(株)広報部広報企画グループ
TEL : 011-251-4076 (直通)